



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月3日  
東

上場会社名 クオールホールディングス株式会社 上場取引所  
 コード番号 3034 URL <https://www.qolhd.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 敬  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 富樫 豊 (TEL) 03-6430-9060  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	126,101	1.2	6,841	△1.2	7,094	0.3	4,158	0.1
2022年3月期第3四半期	124,545	3.1	6,921	49.5	7,072	45.3	4,155	88.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 4,160百万円(0.5%) 2022年3月期第3四半期 4,139百万円(84.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	112.57	—
2022年3月期第3四半期	113.26	—

(参考) EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額)

2023年3月期第3四半期 10,425百万円 2022年3月期第3四半期 10,443百万円

のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2023年3月期第3四半期 6,532百万円 2022年3月期第3四半期 6,524百万円

のれん償却前EPS(のれん償却前四半期純利益/期中平均株式数)

2023年3月期第3四半期 176円84銭 2022年3月期第3四半期 177円83銭

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	105,544	47,291	44.8
2022年3月期	95,984	43,881	45.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 47,243百万円 2022年3月期 43,835百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2023年3月期	—	15.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	17.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当(創業30周年記念配当) 2円00銭

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	8.3	12,000	21.8	12,000	18.9	6,500	18.4	175.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	38,902,785株	2022年3月期	38,902,785株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,826,809株	2022年3月期	2,057,109株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	36,940,499株	2022年3月期3Q	36,687,591株

(注)自己株式数には、従業員持株会専用信託口の所有する当社株式を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(その他特記事項)

決算補足説明資料については、適宜当社ホームページに掲載いたします。

<https://www.qolhd.co.jp/ir/library/supplementarymaterial.html>

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世の中の環境は、新型コロナウイルス感染症第8波拡大やエネルギー価格の高騰、物価上昇等の影響により先行きが不透明な状況が続いております。また、行動制限の緩和等による経済活動正常化への動きも加速しており、更なる変化に対応が可能な、より柔軟で強固な経営体制が求められております。

そのような中、当社は2022年10月に創業30周年を迎えました。『わたしたちは、すべての人の、クオリティ オブ ライフに向きあいます。いつでも、どこでも、あなたに。』という当社グループの企業理念のもと、初心に帰り設立当初の信念『国民生活の質の向上に医療の立場から貢献する』を、さらに実現していけるよう事業活動を展開しております。

業績におきましては、抗原検査キットの販売や受付回数が増加した結果、売上高は順調に推移したものの、物価上昇等によるコスト増加や薬価改定及び調剤報酬改定の影響を受けました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は、売上高126,101百万円（前年同期比1.2%増加）、営業利益6,841百万円（前年同期比1.2%減少）、経常利益7,094百万円（前年同期比0.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,158百万円（前年同期比0.1%増加）となりました。また、E B I T D Aについては、10,425百万円（前年同期比0.2%減少）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ① 保険薬局事業

出退店状況は、新規出店19店舗、事業譲受2店舗、子会社化による取得8店舗の計29店舗増加した一方、閉店により8店舗減少した結果、当事業全体で店舗数は855店舗となりました。

薬局運営につきましては、前期より新たな事業の柱としている在宅・施設調剤の積極的な展開や『クオールおくすり便（LINEミニアプリ）』の機能拡充を図る等、社会的ニーズへの対応と利用者の利便性向上に努め、さらに質の高い薬局を目指して運営しております。

業績につきましては、前期に実施したM&Aや新規出店の寄与と、在宅・施設調剤の推進により受付回数が増加したものの、薬価改定及び調剤報酬改定の影響があったことにより、薬剤料単価及び技術料単価が減少いたしました。また、コスト削減及び適正化に取り組んでおりますが、物価上昇の影響により費用が増加しております。

その結果、売上高は115,286百万円（前年同期比0.3%増加）、営業利益は8,275百万円（前年同期比1.6%減少）となりました。

## ② 医療関連事業

C S O事業においては、増加するMR派遣需要や多様化する医療現場からのニーズに今後も応えられるよう、幅広い経験を持つ人財の採用強化及び質の高い教育等による優秀な人財育成に注力しております。

紹介派遣事業においては、新型コロナウイルス感染拡大への適応が進んでおり、ウィズコロナの中、新型コロナウイルス感染拡大前の水準まで業績が回復しております。また、世の中のニーズに合ったサービスの拡大にも注力しております。

出版関連事業においては、講演や配信の既存事業に加え新たに立ち上げたコンプライアンス事業の体制が整い、事業拡大に向けて注力しております。

医薬品製造販売事業においては、毎年の薬価改定や原材料等のコスト増加影響を受けている中、2022年12月に新型コロナウイルス抗原検査キット『テガルナ®スティック SARS-CoV-2 Ag』の販売を開始いたしました。今後も医薬品を安定供給した上で規模を拡大するため、新製品の開発及び販売を目指します。

セグメントの売上高は10,814百万円（前年同期比12.0%増加）、営業利益は1,158百万円（前年同期比24.5%増加）となりました。

※E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

※C S O : Contract Sales Organizationの略

※MR : Medical Representativeの略

(参考) 報告セグメントごとの状況

1. 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	保険薬局事業	医療関連事業	計
売上高			
(1)外部顧客に対する売上高	114,889	9,655	124,545
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	46	261	308
計	114,936	9,917	124,854
セグメント利益	8,413	930	9,343

2. 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	保険薬局事業	医療関連事業	計
売上高			
(1)外部顧客に対する売上高	115,286	10,814	126,101
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	66	250	317
計	115,353	11,065	126,418
セグメント利益	8,275	1,158	9,434

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、105,544百万円となり、前連結会計年度末から9,559百万円増加しております。

これは主に、のれんが1,600百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,085百万円減少した一方、現金及び預金が9,341百万円、商品及び製品1,790百万円増加したことによるものであります。

## ② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、58,253百万円となり、前連結会計年度末から6,149百万円増加しております。

これは主に、未払法人税等が2,265百万円、賞与引当金が1,141百万円減少した一方、買掛金が6,415百万円、短期借入金が1,500百万円増加したことによるものであります。

## ③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、47,291百万円となり、前連結会計年度末から3,409百万円増加しております。

これは主に、利益剰余金が3,064百万円、自己株式が342百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,685	26,026
受取手形、売掛金及び契約資産	17,382	16,297
商品及び製品	5,254	7,044
仕掛品	210	124
貯蔵品	118	198
その他	2,648	2,974
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	42,296	52,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,315	6,813
工具、器具及び備品（純額）	1,364	1,516
土地	4,893	4,938
その他（純額）	272	646
有形固定資産合計	12,846	13,915
無形固定資産		
のれん	32,339	30,739
ソフトウェア	624	608
その他	273	268
無形固定資産合計	33,238	31,616
投資その他の資産		
投資有価証券	152	144
敷金及び保証金	3,793	3,906
繰延税金資産	2,021	1,656
その他	1,642	1,651
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	7,598	7,346
固定資産合計	53,682	52,879
繰延資産		
社債発行費	4	2
繰延資産合計	4	2
資産合計	95,984	105,544

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,382	24,798
短期借入金	—	1,500
1年内償還予定の社債	808	752
1年内返済予定の長期借入金	7,914	8,159
未払法人税等	2,800	534
賞与引当金	2,326	1,184
その他	3,229	4,333
流動負債合計	35,460	41,262
固定負債		
社債	608	—
長期借入金	13,952	14,465
繰延税金負債	303	310
役員退職慰労引当金	29	32
退職給付に係る負債	640	658
資産除去債務	853	1,100
その他	254	422
固定負債合計	16,642	16,990
負債合計	52,103	58,253
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,786	5,786
資本剰余金	11,276	11,276
利益剰余金	29,798	32,863
自己株式	△3,012	△2,669
株主資本合計	43,849	47,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14	△13
その他の包括利益累計額合計	△14	△13
非支配株主持分	45	47
純資産合計	43,881	47,291
負債純資産合計	95,984	105,544

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	124,545	126,101
売上原価	107,634	108,961
売上総利益	16,911	17,139
販売費及び一般管理費	9,989	10,297
営業利益	6,921	6,841
営業外収益		
受取家賃	26	47
受取手数料	71	89
保険解約返戻金	5	—
補助金収入	17	8
受取保証料	44	44
解約金収入	37	—
その他	78	217
営業外収益合計	281	407
営業外費用		
支払利息	78	59
その他	52	94
営業外費用合計	130	154
経常利益	7,072	7,094
特別利益		
固定資産売却益	2	6
投資有価証券売却益	0	—
年金基金脱退損失戻入益	71	—
特別利益合計	74	6
特別損失		
固定資産除却損	32	29
固定資産売却損	0	3
子会社株式評価損	49	—
子会社株式売却損	5	—
特別損失合計	88	33
税金等調整前四半期純利益	7,057	7,068
法人税等	2,900	2,908
四半期純利益	4,156	4,159
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,155	4,158



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,156	4,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	0
その他の包括利益合計	△17	0
四半期包括利益	4,139	4,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,138	4,158
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響等を含む仮定について重要な変更はありません。